

# 成年後見分野の損害保険会社の取組

2021年9月22日

東京海上日動火災保険株式会社  
企業商品業務部  
井口 智実

# 本日の発表内容

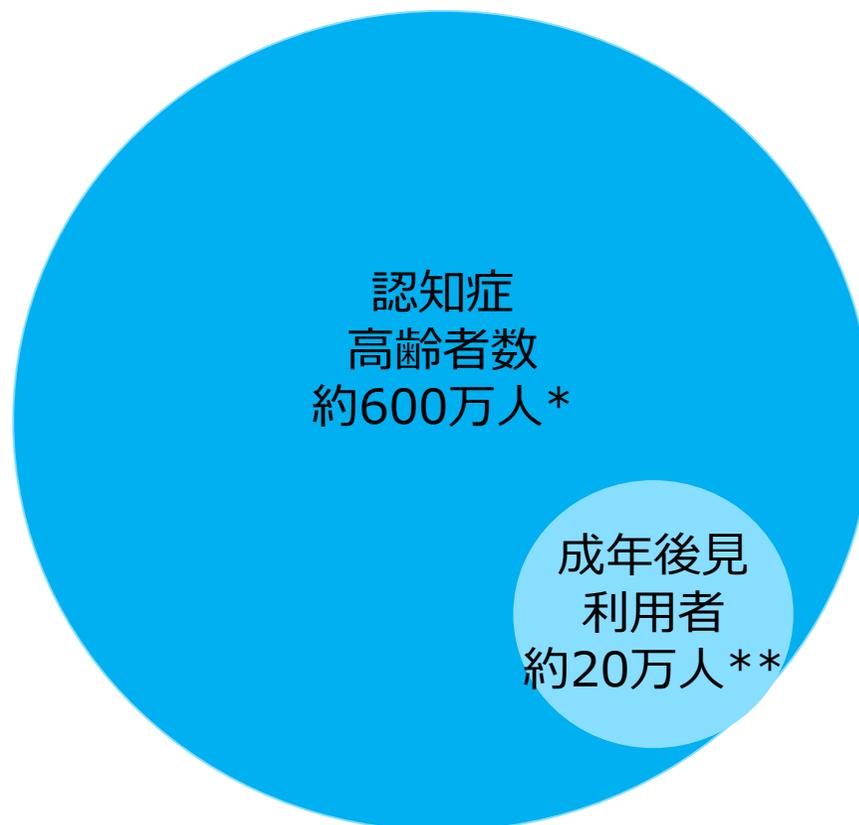
---

1. 成年後見制度利用状況と不正の現状
2. 弊社の経営理念と大学との共同研究
3. 市民後見人に関する現場の声
4. 損害保険会社としての取組

# 1. 成年後見制度利用状況と不正の現状

# 1. 成年後見制度利用状況と不正の現状

成年後見制度の普及が十分ではない理由は、制度の啓発や報酬負担等も指摘されていますが、担い手の確保も大きな課題と認識しており、市民後見人の普及が解決策の一つと考えています。

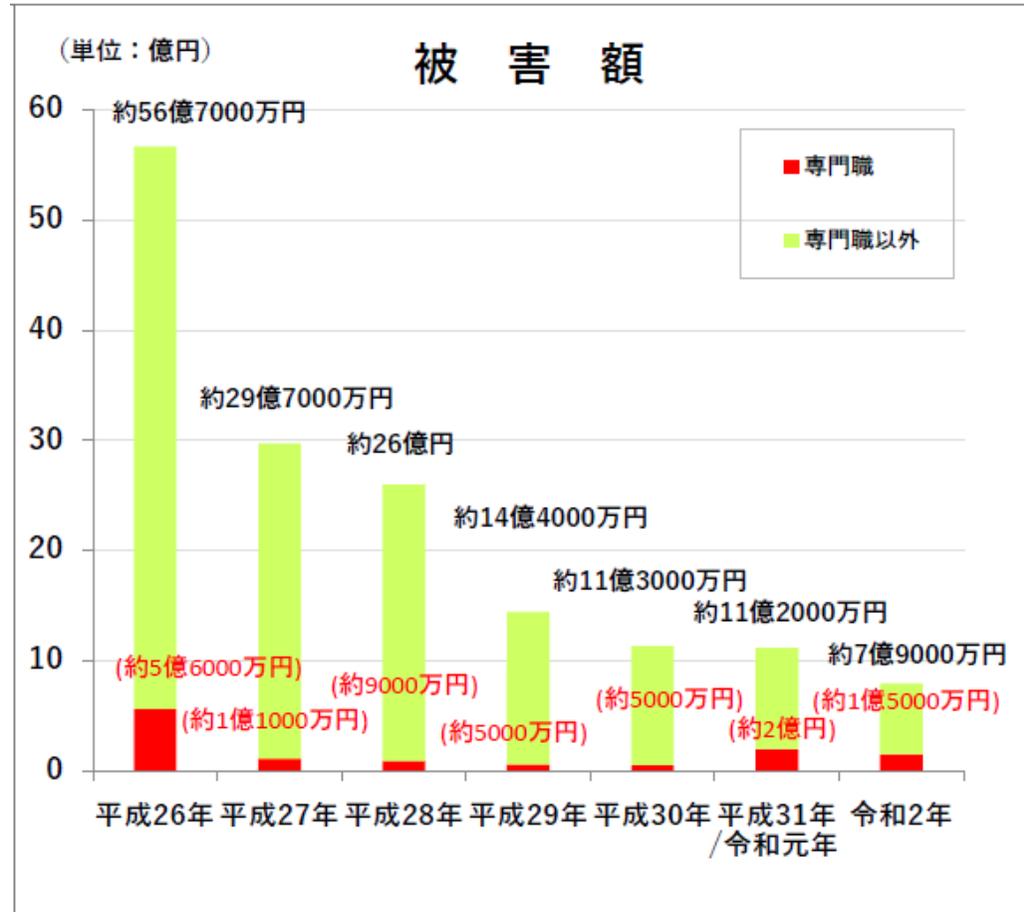


\*「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業九州大学二宮教授）による速報値より2020年度推定値

\*\*「成年後見制度の現状（令和3年3月）」（厚生労働省）より2020年度データ

# 1. 成年後見制度利用状況と不正の現状

後見人等の不正事例の被害額は、令和2年度で約8億円あり、成年後見制度の課題の1つとなっていると考えています。



厚生労働省「成年後見制度の現状(令和3年3月)」

## 2. 弊社の経営理念と大学との共同研究

## 2. 弊社の経営理念と大学との共同研究

### 弊社の経営理念

弊社は1879年に日本初の損害保険会社として設立されました。  
お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、「安心と安全」の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献することを経営理念としております。

## 2. 弊社の経営理念と大学との共同研究

### 大学との市民後見人普及に関する共同研究

- 成年後見制度による支援を必要とする方の増加が見込まれます。
- 2017年度より、大学と市民後見人普及に向けた共同研究を開始しました。
  - ・大学：教育機関として専門的な知見から成年後見制度に関する社会課題の研究
  - ・弊社：保険・サービスの開発・提供による社会課題の解決



#### 【共同研究の目的】

**活動現場の声**を基に、制度の利用しやすさと市民後見人が活躍できる体制・環境づくりに関して**損害保険会社として貢献できる**商品・サービス開発の実施。

### **3. 市民後見人に関する現場の声**

### 3. 市民後見人に関する現場の声／ご本人、ご家族

共同研究開始以降、数年にわたり、相談窓口である自治体や社会福祉協議会、活動中の市民後見人、NPO等から現場の声を伺いました。また、制度を利用する立場である、ご本人やご家族からもご意見を伺いました。

話しやすいし、相談に乗ってくれるから助かる。

親身になって、細やかに支援してくれるので安心できる。

毎月、親の様子を手紙で知らせてくれて本当にありがたい。

頼れる人が身近にできて、安心して生活できるようになった。不安がなくなった。

ご本人

ご家族

専門職でさえ**横領事件**があるので制度に不信感がある。

誰しも、**お金を見ると魔がさす**ことがあるのでは？

勝手に**お金を使われ**ないか心配。

万一、**横領**された場合は弁償してくれるのか？

### 3. 市民後見人に関する現場の声／市民後見人



人生の深さを勉強させてもらっている。本人から教えられることが多い。



行政と社協、地域の専門職がバックアップしてくれるので心強い。



町内には認知症と思われる人が多くなってきているため支援活動がしたい。



地域のために汗をかきたい。

市民後見人



法人後見の支援員としては活動できるが、**個人受任は荷が重い。**



地域の人が成年後見制度を理解していないため、**誤解などから活動しづらい**と感じる。



他人の**財産を預かることに不安**を感じる。

### 3. 市民後見人に関する現場の声／行政、社会福祉協議会

個人受任する市民後見人の**活動支援**をどのように行えばよいかイメージがつかめない。

個人受任は、業務も多く、責任が重たいので、**市民にお願いするのは申し訳ない**。

成年後見制度の利用を説明しても、**家族が「横領されたら補償してくれるのか」とリスクを理由に利用を拒む**。

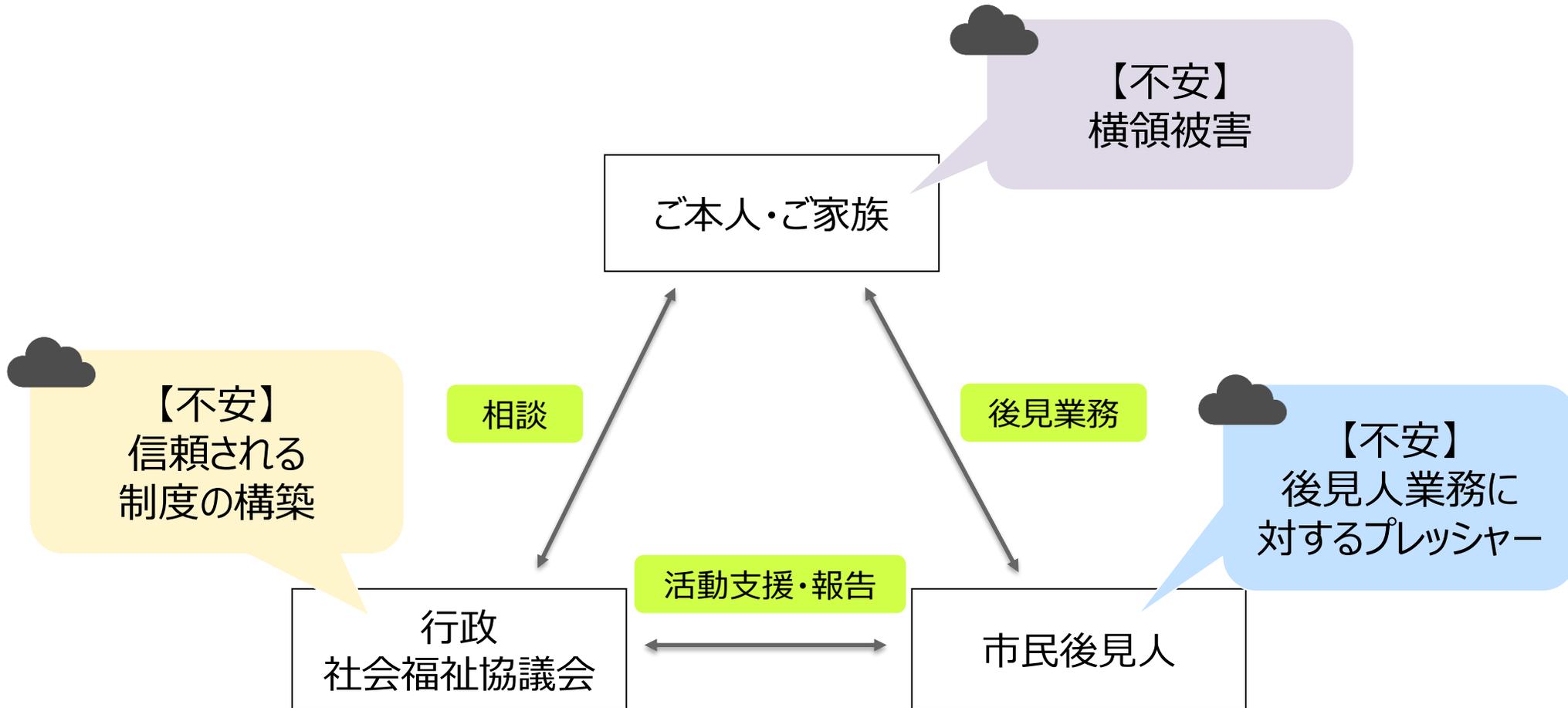
行政  
社会福祉協議会

**財産が多い方は専門職に、少ない方は市民後見人をお願いしている**。

個人受任を行っているが、市民後見人が慣れてくると**社協の活動支援から離れていってしまう**。

市民後見活動に協力してくれる方に対して、不正防止や横領リスクについて話をすることは、**疑っているようで気が引けてしまう**。

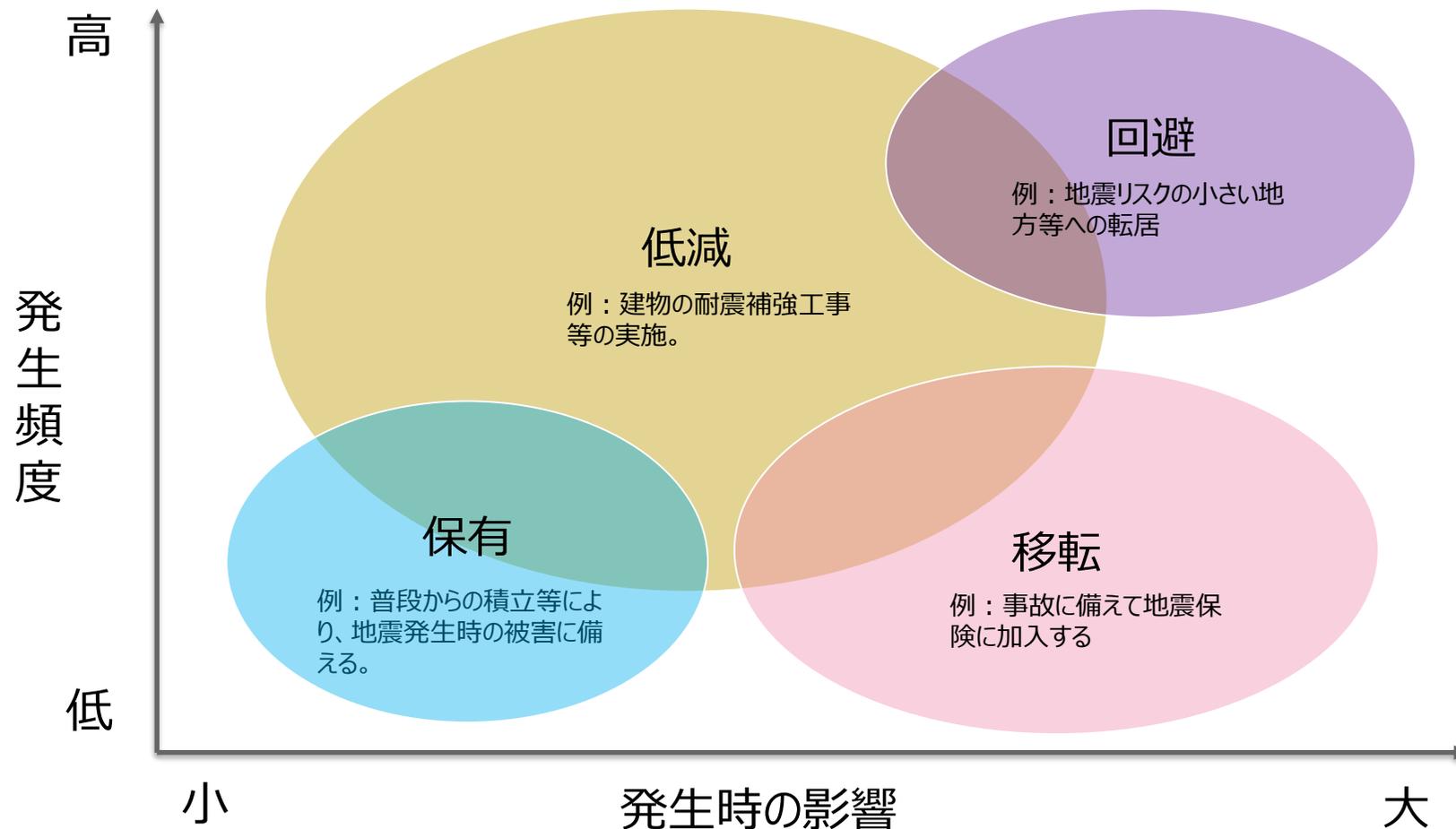
### 3. 市民後見人に関する現場の声／まとめ



## 4. 損害保険会社としての取組

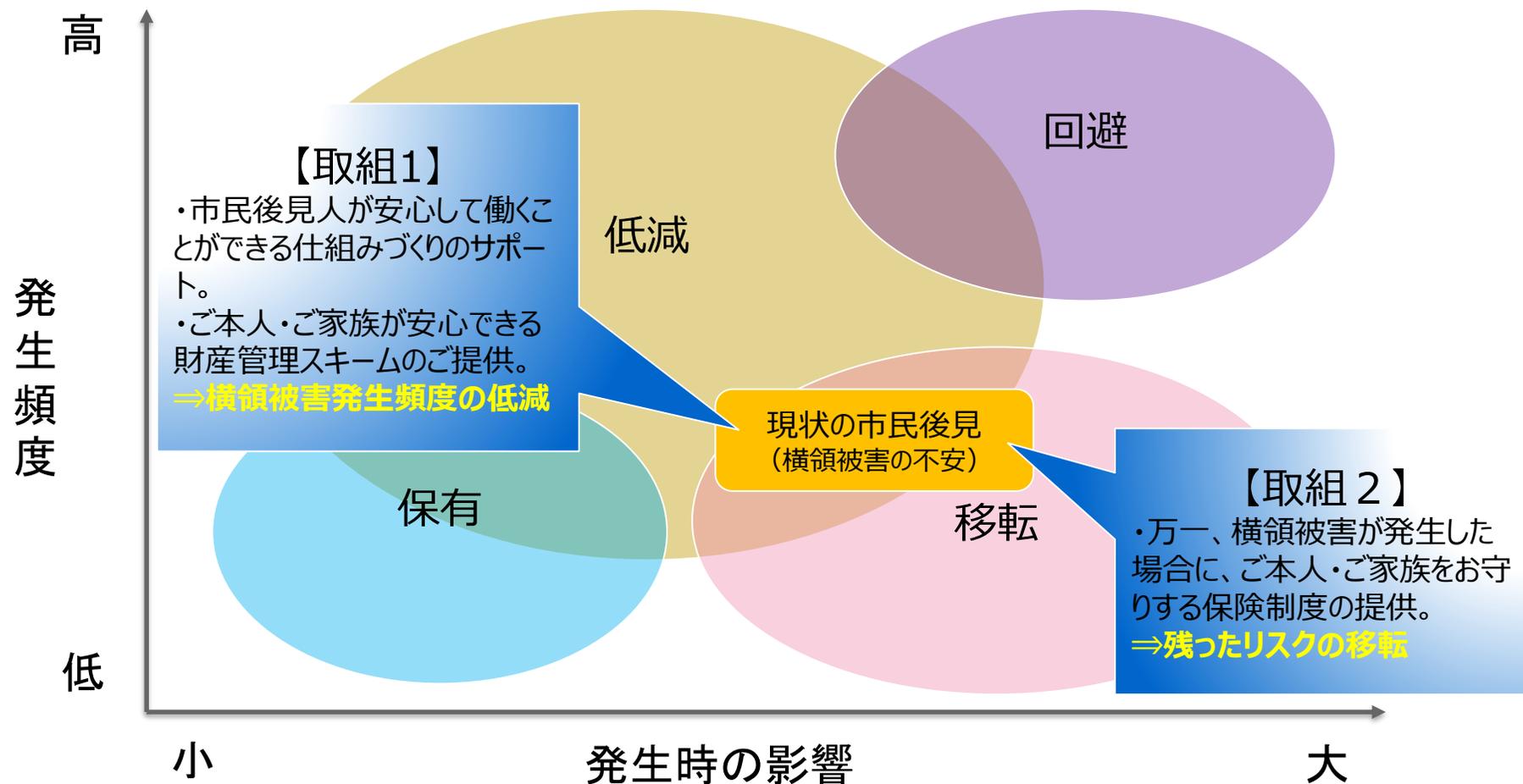
## 4. 損害保険会社としての取組 –リスク対応–

リスク対応には「保有」、「移転」、「低減」、「回避」の4つがあります。例えば地震リスクを例にとると以下のとおりです。



## 4. 損害保険会社としての取組 –リスク対応–

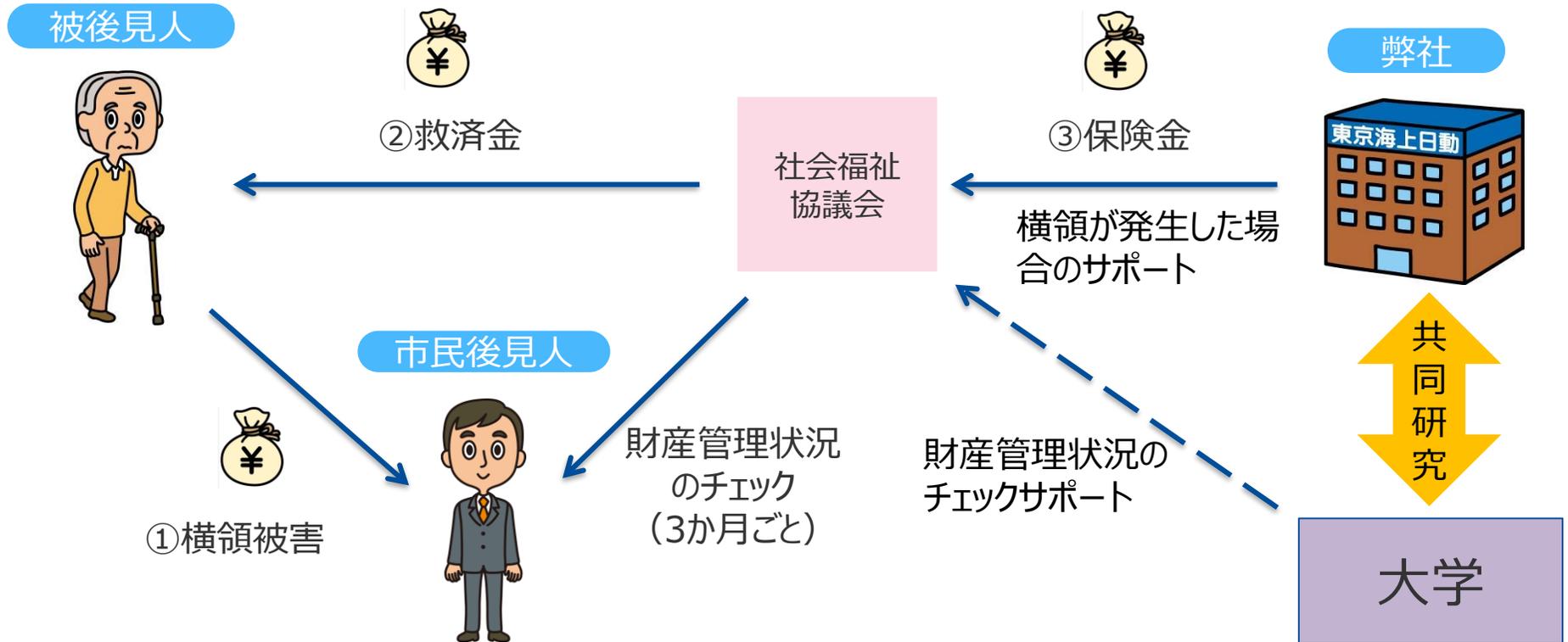
市民後見制度普及に関して、弊社は下記の取組を進めていきます。



# 4. 損害保険会社としての取組 – 市民後見活動支援保険 –

下記2つの取組により、市民後見人の信頼を高め、市民後見制度普及を促進します。

- ・市民後見人の財産管理状況のチェックを行う社会福祉協議会のサポート (リスクの軽減：大学)
- ・万が一横領が発生した場合の補償制度サポート (リスクの移転：弊社)



## 4. 損害保険会社としての取組 –財産管理状況のチェック–

- ✓ 3か月ごとに、社会福祉協議会が市民後見人の支援状況を確認\*  
\*市民後見活動記録、出納帳、通帳原本、その他必要な書類(契約書、請求書、領収書等)の提出。
- ✓ 6か月ごとに、家庭裁判所へ提出する報告書に準じた書面の社会福祉協議会への提出
- ✓ 上記確認業務について、必要に応じて大学による支援\*\*  
\*\*ホームページにて大学への相談受付

ご静聴ありがとうございました

*To Be a Good Company*



東京海上日動